

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			教養	担当教員	大和田裕美 神健夫
配当年次			1年	実務経験	有・フラワーデザイン 人材活用サービス業務
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義 演習 実習 実技 実験		
科目概要			美容師として働くために必要な知識を学ぶ(手話・デッサン・写真・フラワーアレンジメント等)		
到達目標			専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術・文化・社会制度など幅広い教養を身につけることにより人間性豊かな人格の形成を目指す。		
成績評価			出席状況、課題提出等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	自己分析チェックシート ・目的の定義 ・手段を知る		
	5	9	フラワーアレンジメント カラーセラピー ・健康チェック ・もう一人の自分発見		
	6	6	返事の意味 ・グループディスカッション 今年の目標 ・1年後2年後 ウィックが出来るまで ・お手入れ法 ・植え付け体験		
	7				
二学期	8				
	9	3	デッサン ・顔のプロポーション ・各部位の描き方①		
	10	1	デッサン ・各部位の描き方②		
	11	3	テーブルマナー		
	12	3	年金セミナー		
三学期	1	2	『美容師を目指す上で大切なこと』講話 (目標を持つ、将来像をイメージ)		
	2				
	3	1	就職レクチャー 求職票の書き方他		
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			社会福祉	担当教員	野崎真奈美
配当年次			1年	実務経験	有・地方公共団体保健部勤務
学期・区分			①学期②学期③学期④必修	授業単位	1 単位
授業の方法			①講義②演習③実習④実技⑤実験		
科目概要			高齢の方々や障害をもつ人の生活上の困難を理解し、美容という仕事を通じ「誰もが自分らしく生きること」に貢献できるよう様々な知識を実践を通して学ぶ。		
到達目標			ア、福祉とはみんなで築きあげるみんなの幸せ、社会の幸せであること。自己肯定感をもち、感性を磨いていく。教科書と併用して新聞、テレビ等で取り上げられている実際の問題を自分の問題として考え、どのように関わっていくか。イ、どんな人も幸せになりたい、なる権利を持つてること、美容師は人をきれいにし、喜びを与えられる「手」をもつ。自分という人間がその担い手になることに気づかせること。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	「社会福祉」授業で学ぶおもなもの(ダイジェスト配布) 街にはバリアがいっぱい		
	5	4	ノーマライゼーションとバリアフリー ユニバーサルデザインの世界作りの勧め 憲法とは何か(全文配布)		
	6	4	障害と私達の社会 教科書との関連性を具体的に学ぶ 社会保障とは 体系、意義、目的		
	7	2	1学期まとめ 期末試験		
二学期	8				
	9	2	具体的な問題、情報提供 パラリンピック、LGBT、DV、パワーハラスメント(高齢者、障害者、児童)		
	10	3	高齢者と障害者の体と心		
	11	3	自分とは、自己肯定とは、相手とは？		
	12	2	2学期まとめ 期末試験		
三学期	1	3	高齢者、障害者の介助 ユニバーサルデザインに関わる体験講座		
	2	5	認知症サポーター講座、DVDによる鑑賞、視覚障害など体験		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			関係法規・制度	担当教員	野崎真奈美
配当年次			2年	実務経験	有・地方公共団体保健部勤務
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			社会における方の役割、衛生法規、衛生行政、美容師法など、美容業を行う際に関係ある法律を学ぶ。		
到達目標			ア 美容師の業務に係る衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識と必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。 イ 美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	法制度の概要 ・社会生活における法の役割 ・法の形式		
	5	3	衛生法規の概要 ・美容師法と付属法令 衛生行政の概要 ・衛生行政の意義と歴史		
	6	4	衛生行政の分類と生活衛生行政 ・衛生行政を担う行政機構 法制度の概要 衛生行政の概要まとめ 理容師法・美容師法 ・目的 ・用語の定義		
	7	3	人に関する規定 概要 ・養成施設、期末試験		
二学期	8	1	免許と登録		
	9				
	10	1	理容師・美容師の義務		
	11	3	業務停止、免許取り消し及び再免許 ・管理美容師 施設に関する規定 ・理容所・美容所の開設		
	12	3	・開設者が講ずべき衛生措置 立ち入り検査と環境衛生監視員 期末試験		
三学期	1				
	2	10	違反者に対する行政処分 罰則 関連法規 理容業・美容業の運営に関する法律 卒業試験 ・国家試験対策		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			衛生管理	担当教員	松崎百美
配当年次			1年	実務経験	有・美容業務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			公衆衛生、環境衛生について学び、感染症、消毒の目的、方法を知り、サロンにおいての衛生面に必要な知識を学ぶ。		
到達目標			公衆衛生についての意義と重大な責務を担っていることと、環境衛生についてもその意義と目的について美容師の業務と関連づけながら具体的に理解させる。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	公衆衛生の概要 ・公衆衛生 ・公衆衛生の意義と課題		
	5	2	公衆衛生発展の歴史 ・理容師・美容師と公衆衛生		
	6	5	公衆衛生と統計・保健(母子保健、成人高齢者保健)		
	7	3	保健(精神)・医療介護の制度 ・環境衛生 ・期末試験		
二学期	8	1	空気・水・日光		
	9	2	衣食住と健康 ・上・下水道と廃棄物		
	10	1	衛生害虫とネズミ		
	11	4	公害と環境保全 ・理容所と美容所の環境衛生 ・期末試験		
	12	3	感染症 感染症発見の歴史 ・感染症と法律による分類/侵入、媒介経路による侵入による分類/病原体による分類 期末試験		
三学期	1	4	微生物の種類/大きさ/構造 ・細菌の増殖/ウイルスの増殖 ・微生物の病原性		
	2	3	遺伝と変異/人体の感受性 人体と病原体との接触(汚染) 期末試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			衛生管理	担当教員	猪俣代利子
配当年次			2年	実務経験	有・美容業務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	2 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			公衆衛生、環境衛生について学び、感染症、消毒の目的、方法を知り、サロンにおいての衛生面に必要な知識を学ぶ。		
到達目標			美容師の業務内容と感染症の予防のために消毒の方法が特に重要であることを理解させる。また、美容器具の材質を見極めて適正な実施方法を身につけること		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	6	感染/不顕性感染、持続性感染、日和見感染 常在細菌叢/分布/生体への影響 ・発病 ・潜伏期 ・免疫 ・予防接種/定期的予防接種		
	5	2	感染源/ヒト 潜伏期病原体保有者、病後病原体保有者、無症状病原多体保有者/動物、節足動物 ネズミ、馬、豚、蚊、シラミ、ノミ、ダニ		
	6	6	食品、土壌 ・感染経路/直接伝播、間接伝播 ・宿主の感受性 感染予防の3原則/感染源に関する対策(外来感染症、国内感染症)		
	7	5	感染経路に関する対策 ・人体に関する対策 空気・飛沫を介して感染する感染症(結核、ジフテリア、サーズ、インフルエンザ、麻しんなど)各病気の病原体、感染源、感染経路 期末試験		
二学期	8	4	飲食物を介して感染する感染症(細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎) 血液を介して感染する感染症(B型肝炎、エイズ、梅毒)各病気の病原体、感染源、感染経路		
	9	2	動物・節足動物による感染症(ラッサ熱、ペスト、デング熱)各病気の病原体、感染源、感染経路 標準予防策		
	10	4	病原微生物と非病原微生物 ・消毒の原理 /汚染、感染、発病と消毒の意味/殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義 理容所、美容所で起こりうる感染例、重要性		
	11	8	消毒法の種類(理学的、化学的) /消毒に必要な条件(水、温度、時間) /微生物による抵抗力 薬品の使用上の注意 消毒法各論(理学的消毒法の長所、短所)		
	12	6	消毒法各論(化学的消毒法の短所、長所) 消毒法実習(計算) 美容所における消毒の原則 期末試験		
三学期	1				
	2	18	国試対策 卒業試験		
	3				
合計単位数		2(60)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			保健	担当教員	佐藤知子
配当年次			1年	実務経験	有・美容業務(管理美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			人体のつくりや皮膚の構造を学び、健やかに保つ為の方法、疾患も美容と関連させて学ぶ。		
到達目標			ア、体のつくりを知り触覚を司る皮膚、毛髪等の構造や、それらに関わる疾患などを学ぶことで、美容の業務を安全かつ効果的に行えるようになること。イ、国家試験合格を目指し基礎力の習得		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ・皮膚表面		
	5	2	・眼瞼 ・人体、耳鼻、口、他のつくり		
	6	4	・表皮～ 表皮と真皮の境 骨格筋系 ・皮膚の部位差		
	7	3	・テスト範囲 復習プリント ・期末試験		
二学期	8				
	9	2	・骨格筋系のつづき 皮膚付属器官の構造		
	10	3	筋系 神経系		
	11	3	感覚器系 テスト前復習プリント		
	12	2	期末試験 血液、循環器系		
三学期	1	3	呼吸器系 消化器系		
	2	6	消化器系 テスト前復習プリント 期末試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			保健	担当教員	渡邊エリ
配当年次			2年	実務経験	有・美容業務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	2 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			人体のつくりや皮膚の構造を学び、健やかに保つ為の方法、疾患も美容と関連させて学ぶ。		
到達目標			ア、体のつくりを知り触覚を司る皮膚、毛髪等の構造や、それらに関わる疾患などを学ぶことで、美容の業務を安全かつ効果的に行えるようになること。イ、国家試験合格を目指し基礎力の習得		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	5	骨格器系 ・骨の種類と構造 ・骨の連結 ・骨格器系とはたらき 皮膚トラブル、皮膚と皮膚付属器官の疾患、続発疹		
	5	6	筋系 ・筋の種類とその特徴 ・骨格筋とそのはたらき ・表情筋と表情運動 皮膚疾患の原因、カブレ		
	6	8	神経系 ・末梢神経とそのはたらき ・神経系の保健 ラテックスアレルギー、日光皮膚炎、蕁麻疹、熱傷、凍傷、凍瘡、ヒビとアカギレ		
	7	3	感覚器系 ・視覚 ・聴覚 ・平衡感覚 ・味覚 ・嗅覚 復習プリント 期末試験		
二学期	8	2	・皮膚感覚 ・深部感覚と内臓感覚 角化、色素、分泌異常による皮膚疾患		
	9	1	循環器系 ・血液循環の仕組み ・血液の循環経路 ・心臓と血管のはたらき		
	10	6	呼吸器系 ・呼吸器系のあらまし ・気道 ・肺の仕組みとガス交換 ・呼吸運動 感染性の皮膚疾患 ・化膿菌、ウイルス、真菌、衛生害虫による皮膚疾患		
	11	7	消化器系 ・消化器系のあらまし ・消化管の仕組み ・消化管のはたらき 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍		
	12	5	・消化腺そのはたらき ・消化と物質代謝 ・消化器系の保健 期末試験		
三学期	1				
	2	17	国家試験対策、復習プリント 卒業試験		
	3				
合計単位数		2(60)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			香粧品化学	担当教員	近藤博
配当年次			1年	実務経験	有・薬品会社勤務(薬剤師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			美容の業務はもとより、日頃の生活経験と結び付けながら、香粧品について様々な必要な知識を学ぶ。		
到達目標			ア、香粧品の成分等を知り、安全に人に提供する、また自分が使用できるようにする。 イ、国家試験合格を目指し基礎力の習得		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	物質の構成、溶解とコロイド		
	5	4	イオンと水素イオン指数 物質の変化と化学反応 酸化・還元反応 タンパク質 香粧品概論		
	6	4	香粧品概論 香粧品安全性 香粧品の種類と機能		
	7	2	期末試験範囲の復習 期末試験		
二学期	8				
	9	2	爪、まぶたや唇の性状 水性原料		
	10	3	油性原料、炭化水素 界面活性剤 高分子化合物 色材		
	11	3	香料 その他の配分成分		
	12	2	期末試験範囲の復習 期末試験		
三学期	1	3	ネイル、まつげエクステンション用材料 皮膚性状用香粧品 化粧水		
	2	5	クリームと乳液 期末試験範囲の復習 期末試験 その他の基礎化粧品 メイクアップ香粧品		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			香粧品化学	担当教員	近藤博
配当年次			2年	実務経験	有・薬品会社勤務(薬剤師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			美容の業務はもとより、日頃の生活経験と結び付けながら、香粧品について様々な必要な知識を学ぶ。		
到達目標			ア、香粧品の成分等を知り、安全に人に提供する、また自分が使用できるようにする。 イ、国家試験合格を目指し基礎力の習得		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	芳香製品:香水 特殊香粧品		
	5	3	教科書まとめプリントによる復習		
	6	4	教科書まとめプリントによる復習		
	7	2	期末試験範囲の復習 期末試験		
二学期	8				
	9	1	教科書まとめプリントによる復習		
	10	4	国家試験過去問演習		
	11	4	国家試験過去問演習		
	12	2	期末試験範囲の復習 期末試験		
三学期	1				
	2	8	国家試験対策(練習問題演習) 卒業試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			文化論	担当教員	土屋郁子
配当年次			1年	実務経験	有・美容業務(管理美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			日本の美容の歴史及び日本と西洋の髪型・服装・メイクなどトータルの歴史及び礼装について学ぶ。		
到達目標			日本及び海外の理容・美容の歴史・沿革を学び、髪型・服装・メイクなどトータルのファッションの変遷を知ること、創造の幅を広げる。又礼装の知識を深め、服装におけるエチケットを学ばせる。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	3	総論 ・理容、美容の語義 日本の理容業、美容業の歴史 ・髪結床の誕生 ・女髪結の誕生		
	5	2	江戸時代の理容業、美容業 ・制度に守られた理容業		
	6	3	・女髪結の動向 近代の理容業、美容業 ・髪結いから理髪師へ		
	7	3	美容業と法令 美容業の近代化 期末試験		
二学期	8	1	ファッション文化史(日本編) 縄文、弥生、古墳時代 ・髪型		
	9	1	縄文、弥生、古墳時代 ・化粧 ・服装		
	10	1	古代(飛鳥、奈良、平安時代) ・髪型		
	11	3	飛鳥、奈良、平安時代 ・化粧 ・服装		
	12	3	中世(平安末、鎌倉、室町、戦国時代) ・化粧 期末試験		
三学期	1	3	・服装 貴族～武家文化へ		
	2	7	近世Ⅰ(戦国末、安土桃山時代)・髪型 ・化粧 ・服装 近世Ⅱ(江戸時代)・髪型 ・化粧 服装 期末試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			文化論	担当教員	土屋郁子
配当年次			2年	実務経験	有・美容業務(管理美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			日本の美容の歴史及び日本と西洋の髪型・服装・メイクなどトータルの歴史及び礼装について学ぶ。		
到達目標			日本及び海外の理容・美容の歴史・沿革を学び、髪型・服装・メイクなどトータルのファッションの変遷を知ること、創造の幅を広げる。又礼装の知識を深め、服装におけるエチケットを学ばせる。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	4	近代(明治、大正、昭和20年まで) ・髪型 理髪用具の国産化と髪型、束髪と日本髪(明治)		
	5	2	束髪と日本髪(大正)、束髪と日本髪(昭和)		
	6	2	・化粧 明治時代、大正時代		
	7	2	・化粧 昭和時代 期末試験		
二学期	8	1	・服装(明治、大正、昭和)		
	9	1	現代Ⅰ 現代ファッション文化 ・髪型 ・服装		
	10	4	現代Ⅱ ・髪型 ・化粧 ・服装 現代Ⅲ ・髪型 ・化粧 ・服装 現代Ⅳ ・髪型 ・化粧 ・服装		
	11	3	礼装の種類 ・和装の礼装 ・洋服の礼装 ファッション文化史(西洋編) 古代エジプト ・髪型 ・化粧 ・服装		
	12	3	古代ギリシャローマ ・髪型 ・化粧 ・服装 古代ゲルマン ・髪型 ・化粧 ・服装 期末試験		
三学期	1				
	2	8	中世ヨーロッパ 近世Ⅰ(16世紀) 近世Ⅱ 近世Ⅲ 近代Ⅰ 近代Ⅱ 現代Ⅰ～Ⅶ 総まとめ 卒業試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容技術理論	担当教員	松崎百美 添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	3 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			・美容の器具の名称、取扱い方 ・技術Ⅰの注意点その他目的や種類特徴などについて・美容全般(エステ・ネイル・日本髪等)理論技術を学ぶ。		
到達目標			ア、技術手順に加え、美容用具、薬剤や化粧品についての知識とその使用方法を学び、美容技術の裏付けとなる理論をしっかりと理解する。 イ、国家試験合格を目指し、美容の基礎的な理論を学ぶ。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	9	美容理論と美容技術理論 作業姿勢 人体名称等の理解 美容とデザインの要素 エステティックとメイクの歴史 用具の名称 選定方法 取扱いの理解		
	5	11	エステティックとメイクの歴史 空間の基準点と形状の種類 皮膚の構造 背中の牽引 美容技術における用具		
	6	12	エステティックとメイクの歴史 用具の名称等 シャンプーの目的や成分の理解 サイドシャンプーとバックシャンプーの特徴 ブラッシュオンメイクアップ 形・大きさ		
	7	5	期末試験 ネイル・着付け デザインの原理 群化の法則 方向 比率 リンス剤の目的や成分 スキャルプトリートメントの方法		
二学期	8	3	ネイル技術3つのテクニックの違い シンメトリーとアシンメトリー バランスの取れたデザイン アンバランスなデザインの印象 アシンメトリーのバランス 検定対策		
	9	3	検定対策 カット技術の理解 シザーズとレザーの扱い方 ヘアカットिंगの正しい姿勢 ヘアカットिंगの基礎理論 調和と比率 ヘアースタイルにおけるリズム		
	10	7	検定対策の強化 カット技法 爪のカット形状 ネイルケア		
	11	11	手と足のマッサージ まつ毛エクステ 日本髪 毛髪の構造 ウェーブが形成される仕組みの理解 パーマ剤の取り扱い		
	12	7	期末試験 パーマ技術の工程 カットやロッドの選定の理解 着付け(給)		
三学期	1	12	ヘアセッティング 基本的なコームの持ち方の理解 国家試験課題を踏まえての理論の理解 ウェーブの名称 ウェーブとループの大きさの関係性の理解		
	2	10	期末試験 学んだ内容の復習 ブロードライ技術のポイント アイロンの巻き方の種類 アップスタイルの種類		
	3				
合計単位数		3(90)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容技術理論	担当教員	渡邊エリ 鈴木快河
配当年次			2年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期・②学期・③学期・必修	授業単位	2 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			・美容の器具の名称、取扱い方 ・技術Ⅰの注意点その他目的や種類特徴などについて・美容全般(エステ・ネイル・日本髪等)理論技術を学ぶ。		
到達目標			ア、技術手順に加え、美容用具、薬剤や化粧品についての知識とその使用方法を学び、美容技術の裏付けとなる理論をしっかりと理解する。 イ、国家試験合格を目指し、美容の基礎的な理論を学ぶ。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	6	着付けの理論と技術 ・着付けの目的 ・礼装 ・着物と季節 ヘアカラーリング ・カラーリング概要 ・ヘアカラーの種類		
	5	5	ヘアカラーのタイプ別特徴 ・永久染毛剤 ・脱色剤 脱染剤 着物のいろいろ ・帯		
	6	6	半永久染毛剤 ・一次染毛料 着付けの小物 ・ 着物の各部の名称		
	7	4	期末試験範囲の復習 期末試験		
二学期	8	4	染毛のメカニズム ・色の基本 着物のたたみ方 ・ 留袖着付け技術 ・ 振袖着付け技術		
	9	2	帯締め・帯揚げの結び方 ・ 男子礼装羽織袴着付け技術		
	10	9	毛髪のレベルとアンダートーン ・パッチテスト ・染毛剤と皮膚炎 ・パッチテストの実際 ・酸化染毛剤の技術手順 ・酸化染料の技術手順 ・ヘアブリーチ(脱色)		
	11	7	染毛剤使用時の注意事項 ・ ヘアカラーリングの道具 羽織のひもの結び方 ・ 女子袴着付け技術 ・ 婚礼着付けの際の注意事項		
	12	4	期末試験範囲の復習 期末試験		
三学期	1				
	2	13	国家試験対策 (まとめプリント ・ 過去問題 ・ 問題集) 卒業試験		
	3				
合計単位数		2(60)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			運営管理	担当教員	土屋郁子
配当年次			2年	実務経験	有・美容室勤務(管理美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			美容師としてスタートするのに必要な知識、働いていく上での知識、自分で店を持つための知識まで、接客・経営・管理に分けて学んでいきます。		
到達目標			経営管理及び労務管理の基本を学習することにより、経営者の考え方や果たす責任と役割、雇用する責任、また従業員として求められること、さらに接客態度がいかに重要であるか、顧客を満足させるサービスをどう実現させるか学ばせ実践させる能力を身につけさせる。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	3	経営とは・経営者とは ・経営が必要とされる理由 ・経営とは何か		
	5	1	・経営資源と経営計画 ・経営戦略		
	6	3	・経営戦略が目指すもの ・美容業の経営について ・競争の変化		
	7	2	美容業の顧客について ・顧客が来るのは当たり前ではない ・顧客の特徴 期末試験		
二学期	8	2	資金の管理 ・資金の管理の重要性 ・収益と損益 ・会計の考え方		
	9	1	・コストを管理する ・税金について		
	10	2	人という資源 ・人の能力を高める ・やる気とは何か ・給与		
	11	4	・待遇・福利厚生 ・労働者の権利 健康・安全な職場環境の実現 ・健康管理		
	12	3	従業員としての視点から ・責任 社会保険 ・公的年金 ・医療保険 ・雇用保険 期末試験		
三学期	1				
	2	9	・顧客満足の実現 ・マーケティング ・要点 ・マーケティング ・ミックス ・サービスのシステム化 ・接客実践 ・接客で発生が予想される問題 ・対処 国家試験対策 卒業試験		
	3				
合計単位数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容実習	担当教員	松崎百美 添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	16 単位
授業の方法			講義演習実習実技実験		
科目概要			髪の中の扱い方、道具の使用法、基礎的技術を学び、主に国家試験課題へ向け土台づくりをする。		
到達目標			美容に関する理論、知識を学び、美容の技術を安全かつ効果的に実施する技術を習得する。 国家試験の合格を目指し基礎技術の習得。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	14	スキャルプマニピュレーション ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き		
	5	23	ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き		
	6	36	ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き		
	7	50	着付け、ネイル、ワインディング 期末試験		
二学期	8	32	ワインディング ・ワインディングブロッキング別30分チェックテスト 校内コンテスト		
	9	53	ワインディング ・ワインディングブロッキング込の練習 ヘアカレ祭		
	10	45	アップスタイル ・三つ編み ・編み込み ・ホットカーラー ・アイロン ワインディング、シャンプーブロー		
	11	28	ワインディング カット ・シザー ・レザー ・ブロー		
	12	44	ワインディング ・オールウェーブ用ウィッグパーマかけ、ネイル、着付け 期末試験		
三学期	1	59	オールウェーブ ・ヘアカーリング ・ヘアウエービング シャンプー		
	2	48	オールウェーブ 期末試験		
	3	48	カラー技術 ・ブリーチ技術 ・塗布練 アップスタイル ・夜会		
合計単位数		16(480)			

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容実習	担当教員	猪俣代利子 鈴木快河
配当年次			2年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			1学期・2学期・3学期・必修	授業単位	14 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			髪の中の扱い方、道具の使用法、基礎的技術を学び、主に国家試験課題へ向け土台づくりをする。		
到達目標			美容師に必要な総合的な技術の基礎を習得し、将来的に個々のお客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できる力を身につける。 国家試験合格を目指した基礎技術の習得。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	19	ワインディング ・ワインディングチェックテスト20分(タイム重視) ・構成の向上 ・面や幅出し、オールウェーブ、応用カット		
	5	19	日本髪 ヘアカラー エクステ オールウェーブ		
	6	29	オールウェーブ ボランティア活動		
	7	46	オールウェーブ ヘアカレ祭練習(ヘアメイクショー)、期末試験		
二学期	8	14	校内コンテスト ヘアカレ祭練習(ヘアメイクショー)		
	9	38	ヘアカレ祭練習 (ヘアメイクショー) ヘアカレ祭(実践)、国家試験実技練習		
	10	54	国家試験実技練習 国家試験第2課題査定		
	11	39	国家試験実技練習		
	12	49	国家試験実技練習 期末試験		
三学期	1	99	国家試験実技練習 卒業試験		
	2	6	シャンプー練習 ・サイドシャンプー		
	3	8	シャンプー練習 ・バックシャンプー		
合計単位数		14(420)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容総合技術		担当教員	佐藤知子 松崎百美 添田央貴
配当年次			1年		実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			1学期・2学期・3学期(必修)		授業単位	4単位
授業の方法			講義・演習・実習(実技・実験)			
科目概要			美容実習で学んだことをさらに応用し、様々な編み方、特殊な巻き方を学んだり、着付け・ネイルも学ぶ。			
到達目標			ア、就職してから必ず必要となる接客スキルを学生のうちに身につける。 イ、就職してから即戦力になれるようにシャンプースキルを身につける。また、「編む」という手技、着付け小物の使用法、ネイルの道具等を実践的に知る事で技術者の一助として活躍できるようにすること。			
成績評価			出席状況、課題ごとのチェック等による評価			
授業計画						
学期	月	授業時数	内 容			
一学期	4	11	1年間の流れ 用具渡し タオル掛け 接客意識 テキストの確認 接客練習 シャンプー台での1stシャンプーの仕方(お湯無し)			
	5	22	接客意識 2ndシャンプー チェントリ ハンドブロー 耳後ろ流し方展示 濡らし1・2 シャンプー 流し ブラシブロー 声掛け(座学有)			
	6	18	接客意識 ブロー ヘルプの入り方 シャンプータイムの意識 お客様の迎える場所を変えての授業 カルテの発行(お客様の毛質等)			
	7	3	中間査定(実技・筆記)			
二学期	8	12	着付け(浴衣)／自分で着ること 相手に着せる事 ネイル／ネイルケア 三つ編み、編み込みの練習			
	9	27	待遇意識／お客様のお迎え、声かけ、案内誘導、お見送りなど 技術／力加減、リズム、時間、ブロー(ハンド、ブラシ共に)			
	10	15	接客意識 シャンプーを取り入れながらのパーマの一連の流れを実践。トリートメントを使ってモデルの毛を使いスタイリストなど役割を決め行う。			
	11	9	接客意識 シャンプーを取り入れながらのパーマの一連の流れを実践(塗布練習、ヘルプあり)。ウィッグを使用しカラーリングの塗布練習を行う(ヘルプ体験)			
	12					
三学期	1					
	2					
	3	3	ウィッグを使用しカラーリングの塗布練習を行う(ヘルプ体験)			
合計単位数		4(120)				

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			美容総合技術	担当教員	渡邊エリ 猪俣代利子 鈴木快河
配当年次			2年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	8 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			美容実習で学んだことをさらに応用し、様々な編み方、特殊な巻き方を学んだり、着付け・ネイルも学ぶ。		
到達目標			必修科目において習得した基本的技術を基に、カット技術での様々なスタイル作りや、カラー技術でのウィービング技術、パーマ技術での特殊巻きなどさらに発展させた応用技術を身に着けます。また、サロンワークでの実践に向けてのシャンプー技術の向上や、ヘアメイクショーでの総合的スタイル作りにおいて、ヘアスタイルに合わせたネイルやメイク技術、斬新な着付け技術から自ら新しいデザインの開発をすることも習得します。		
成績評価			出席状況、課題ごとのチェック等による評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	20	サイドシャンプーの練習／相モデル		
	5	34	バックシャンプーの手順／手技の練習		
	6	34	スカルプマッサージ／シャンプーマッサージ(ヘッドスパ)／バックシャンプー		
	7	21	ヘアメイクショー(ヘア、メイク、ネイル等デザイン考案)		
二学期	8	29	ヘアメイクショー(ヘア、メイク、ネイル等デザイン考案、練習) パーマネット技術(応用巻き、特殊巻き)		
	9	71	ヘアメイクショー(ヘア、メイク、ネイル、着付け技術の練習、ヘアメイクショーの実践)		
	10	12	応用カット(レイヤー、グラデーション、レザーカット)		
	11	12	ヘアカラー、ブリーチ(塗布練習)ヘアカラー、ブリーチ(ウィービング、スライシング)		
	12				
三学期	1				
	2				
	3	7	アップスタイル技術、編み込み技術の応用、日本髪		
合計単位数		8(240)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			エステティック技術	担当教員	渡邊エリ
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師・エステティシャン)
学期・区分			①学期②学期③学期④必修	授業単位	2 単位
授業の方法			①講義②演習③実習④実技⑤実験		
科目概要			フェイシャルトリートメント技術の習得(クレンジング、ディープクレンジング・マッサージ・パック・仕上げ)と必要な知識(人体・皮膚の構造・衛生・カウンセリング等を学ぶ		
到達目標			ア、美容師ができるエステティック(ソワンエステティック)の理論と様々な手技、安全な機器の扱い方を学び、それぞれの肌質にあわせ、技術の組み合わせを考え美しい肌づくりを提供できるようにする。 イ、日本エステティック協会主催の検定(フェイシャルエステティシャン)合格を目指す。		
成績評価			出席状況、検定試験結果等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	12	用具渡し、機器説明 ・ベッドセッティング、ターバン、胸の処理、ポイントメイク落とし+スポンジでのふきとり		
	5	4	エステティックとは ホメオスタシス ・準備とハンドクレンジング、ブラシクレンジング(顔) 皮膚のしくみと働きⅠ ・ハンドクレンジング+ブラシクレンジング(顔+デコルテ)		
	6	4	皮膚のしくみと働き ・準備とクレンジング+スキンチェック 身体のしくみと働き ・クレンジング+スキンチェック 悪脂肪吸引 身体のしくみと働きⅡ		
	7				
二学期	8	8	皮膚のしくみと働きⅡ ・ハンドマッサージ		
	9	8	エステティックの基礎知識/フェイシャルの基礎知識 ・クレンジング+深部洗浄 エステティックカウンセリング ・クレンジング+リンパマッサージ		
	10	8	化粧品の種類と働き ・クレンジング復習+オイルマッサージ 栄養の知識 ・クレンジング復習+パック		
	11	12	エステティックにおける衛生と消毒 ・クレンジング復習+ペルチェ ボディエステティックの基礎知識 試験対策		
	12	4	筆記試験対策(練習問題) 実技試験 筆記試験 ・クレンジング+パック+ペルチェ		
三学期	1				
	2				
	3				
合計単位数		2(60)			

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (衛生専門課程)

科目名			メイクアップ	担当教員	松崎百美
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期④必修	授業単位	2 単位
授業の方法			講義 演習 実習 実技 実験		
科目概要			メイクの用具、使用法から学び、一通りフルメイクアップができるように取り組み、検定取得も目指します。基礎的な知識を学びます		
到達目標			ア、個人個人の美しさを重要と考え、衛生面に留意し、化粧品の特性、手技を理解してその人が本来もっている美しさを引きだせるようになること。 イ、日本メイクアップ連盟主催メイクアップ検定3級合格を目指す。		
成績評価			出席状況、検定試験結果等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	12	一年の流れ 検定について 用具渡し、セッティング・スキンケアの仕方 アイメイクアップ(カラーアイシャドウ)		
	5				
	6	8	ベースメイクアップ ポイントメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ 3級筆記試験練習問題		
	7	4	ベースメイクアップ ポイントメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ 3級筆記試験練習問題		
二学期	8				
	9	8	フルメイクアップ(タイム意識) 3級筆記試験練習問題		
	10	16	外来講師による仕上がりチェック 講習 復習 フルメイクアップ 3級検定試験(実技・筆記)		
	11	4	フルメイクアップ クリームFD以外のFDの違いを体験 立体感をつける		
	12	4	1月の自由制作に向けてデッサン描き フルメイクアップ練習		
三学期	1	4	自由制作に向けてデッサン描き仕上げ フルメイクアップ練習 自由制作と発表 撮影		
	2				
	3				
合計単位数		2(60)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			接客・接遇マナー	担当教員	添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			接客に必要な心構えを理解し、言葉遣い(敬語)や、ご案内・誘導・電話の対応などをロールプレイングを交えながら学習する。		
到達目標			学生生活と社会人生活にどのような違いがあるのか社会人としてどのような心構えが必要か、社会人としてふさわしい行動はどのようなものなのか理解し、自分自身と、社内の人、お客様、取引先といった周囲の人たちとの関わりの中で仕事の成果をあげるために社会人として、美容師として求められる心構えとビジネスマナーを身につける。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	社会人としての心構え ・学生と社会人の違い ・美容師としての心構え ・求められる資質 ・サロンでの基本マナー ・身だしなみ ・指示の受け方、報告の仕方		
	5	3	基本動作 ・立つ姿勢 ・お辞儀の仕方 ・歩き方 言葉遣いの基本 ・話し方ロールプレイング		
	6	3	言葉遣いの基本 ・敬語の基本 ・敬語練習問題		
	7	2	期末試験 接客対応 ・接遇とは		
二学期	8	1	お客様の受付からお見送りまで ・案内の要領、お茶の出し方		
	9	1	接客対応 ・会計とお見送り ・接客対応のまとめ		
	10	6	電話対応 ・対応の注意点 ・電話の受け方の基本 ・伝言メモの作成 ・こんな電話の時あなたは？ ・電話のかけ方 ロールプレイング		
	11	4	信頼される美容師になるために ・お客様が美容師に求めている4つの要素		
	12	2	期末試験 ・お客様が美容師に求めている4つの要素 ・ディスカッション		
三学期	1	3	社会人のマナーとして・名刺の取り扱い方 ・冠婚葬祭について		
	2	3	・顧客心理を理解する ・お客様の評価とは ・再来店してもらえ接客・接遇サービスを考える。		
	3				
合計時間数		1(30)			

美容科 (衛生専門課程)

科目名			接客・接遇マナー	担当教員	鈴木快河
配当年次			2年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期・②学期・③学期・必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			接客に必要な心構えを理解し、言葉遣い(敬語)や、ご案内・誘導・電話の対応などをロールプレイングを交えながら学習する。		
到達目標			学生生活と社会人生活にどのような違いがあるのか社会人としてどのような心構えが必要か、社会人としてふさわしい行動はどのようなものなのか理解し、自分自身と、社内の人、お客様、取引先といった周囲の人たちとの関わりの中で仕事の成果をあげるために社会人として、美容師として求められる心構えとビジネスマナーを身につける。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	8	接客、接遇についての理解、復習		
	5	2	指示の受け方、報告の仕方、復習		
	6	7	接客対応復習 ・接客とは ・接客の心構え ・敬語の復習 ロールプレイング		
	7	2	敬語の復習 ・期末試験		
二学期	8	1	お客様から受付からお見送りまで ・接客の流れ ・案内の流れ ・案内の要領 復習		
	9	1	・施術と接待の要領 ・会計とお見送りの要領 復習		
	10	3	電話対応復習 ・電話の受け方の基本と対応の注意点(電話の特性、話法のポイント)		
	11	2	電話対応復習 ・伝言メモの作成(電話の特性、話法のポイント)		
	12	2	・電話の対応TPO復習・期末試験		
三学期	1				
	2	2	信頼される美容師になるため復習(ディスカッション)		
	3				
合計時間数		1(30)			

郡山ヘアメイクカレッジ

2026年度 授業計画書(シラバス)

美容科 (理容修得者課程)

科目名			教養	担当教員	大和田裕美 野崎真奈美
配当年次			1年	実務経験	有・フラワーデザイン 地方公共団体保健部勤務
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	1 単位
授業の方法			講義演習実習実技実験		
科目概要			美容師として働くために必要な知識を学ぶ(手話・デッサン・写真・フラワーアレンジメント等)社会福祉を学び、社会の幸せをみんなで築く感性を磨いていく		
到達目標			専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術・文化・社会制度など幅広い教養を身につけることにより人間性豊かな人格の形成を目指す。		
成績評価			出席状況、課題提出等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	2	自己分析チェックシート ・目的の定義 ・手段を知る		
	5	9	フラワーアレンジメント カラーセラピー ・障害と私達の社会		
	6	6	返事の意味 ・グループディスカッション 今年の目標 ・1年後2年後 高齢者と障害者の体と心		
	7				
二学期	8				
	9	3	デッサン 高齢者、障害者の介助		
	10	1	デッサン		
	11	3	テーブルマナー		
	12	3	年金セミナー 認知症サポーター講座		
三学期	1	2	『美容師を目指す上で大切なこと』講話 (目標を持つ、将来像をイメージ)		
	2				
	3	1	就職レクチャー 求職票の書き方他		
合計時間数		1(30)			

美容科 (理容修得者課程)

科目名			美容技術理論	担当教員	松崎百美 添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	4単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			・美容の器具の名称、取扱い方 ・技術Ⅰの注意点その他目的や種類特徴などについて・美容全般(エステ・ネイル・日本髪等)理論技術を学ぶ。		
到達目標			ア、技術手順に加え、美容用具、薬剤や化粧品についての知識とその使用方法を学び、美容技術の裏付けとなる理論をしっかりと理解する。 イ、国家試験合格を目指し、美容の基礎的な理論を学ぶ。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	12	美容理論と美容技術理論 作業姿勢 人体名称等の理解 美容とデザインの要素 エステティックとメイクの歴史 用具の名称 選定方法 取扱いの理解 着付けの理論と技術 ・着付けの目的 ・礼装 ・着物と季節 ・ヘアカラーリング ・カラーリング概要 ・ヘアカラーの種類		
	5	16	エステティックとメイクの歴史 空間の基準点と形状の種類 皮膚の構造 背中の牽引 美容技術における用具・ヘアカラーのタイプ別特徴 ・永久染毛剤 ・脱色剤 脱染剤 ・着物のいろいろ ・帯		
	6	23	エステティックとメイクの歴史 用具の名称等 シャンプーの目的や成分の理解 サイドシャンプーとバックシャンプーの特徴 ブラッシュアップメイクアップ 形・大きさ ・半永久染毛剤 ・一次染毛料 着付けの小物 ・着物の各部の名称		
	7	6	ネイル・着付け デザインの原理 群化の法則 方向 比率 リンス剤の目的や成分 スカルプトリートメントの方法		
二学期	8	3	ネイル技術3つのテクニックの違い シンメトリーとアシンメトリー バランスの取れたデザイン アンバランスなデザインの印象 アシンメトリーのバランス 染毛のメカニズム ・色の基本 着物のたたみ方 ・留袖着付け技術 ・振袖着付け技術		
	9	8	カット技術の理解 シザーズとレザールの扱い方 ヘアカットティングの正しい姿勢 ヘアカットティングの基礎理論 調和と比率 ヘアスタイルにおけるリズム		
	10	9	カット技法 爪のカット形状 ネイルケア 手と足のマッサージ		
	11	18	まつ毛エクステ 日本髪 毛髪の構造 ウェーブが形成される仕組みの理解 パーマ剤の取り扱い		
	12	8	期末試験 パーマ技術の工程 カットやロッドの選定の理解 着付け(袴)		
三学期	1	7	ヘアセッティング 基本的なコームの持ち方の理解 国家試験課題を踏まえての理論の理解 ウェーブの名称 ウェーブとループの大きさの関係性の理解		
	2	10	ブロードライ技術のポイント アイロンの巻き方の種類 アップスタイルの種類 期末試験		
	3				
合計時間数		4(120)			

美容科 (理容修得者課程)

科目名			美容実習	担当教員	松崎百美 添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期必修	授業単位	23 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			髪の中の扱い方、道具の使用法、基礎的技術を学び、主に国家試験課題へ向け土台づくりをする。		
到達目標			美容に関する総合的な理論、知識を学び、美容の技術を安全かつ効果的に実施お客様の要望に応じた技術を提供できる技術を習得する。 国家試験の合格を目指し基礎技術の習得。		
成績評価			出席状況、期末試験(100点満点)により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	27	スキャルプマニピュレーション ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き シャンプー(サイドシャンプー)		
	5	36	ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き オールウェーブセッティング シャンプー(サイドシャンプー)		
	6	43	ワインディング ・ブロッキング ・コーミング ・上巻き ・下巻き 日本髪 エクステ オリジナルアップ		
	7	65	着付け、ネイル、ワインディング オールウェーブセッティング 期末試験		
二学期	8	44	ワインディング ・ワインディングブロッキング別30分チェックテスト 校内コンテスト オールウェーブセッティング ヘアカレ祭練習(ヘアメイクショー)		
	9	87	ワインディング ・ワインディングブロッキング込の練習 ヘアカレ祭練習(ヘアメイクショー)		
	10	65	アップスタイル ・三つ編み ・編み込み ・ホットカーラー ・アイロン ワインディング シャンプーブロー カット(基本 ワンレングス レイヤー グラデーション)		
	11	51	国家試験実技練習 カット ・シザー ・レザー ・ブロー		
	12	81	国家試験実技練習 ネイル、着付け 期末試験		
三学期	1	102	国家試験実技練習 ・ヘアカーリング ・ヘアウエービング シャンプー		
	2	80	シャンプー ワインディング 期末試験		
	3	9	カラー技術 ・ブリーチ技術 ・塗布練 アップスタイル ・夜会		
合計時間数		23(690)			

美容科 (理容修得者課程)

科目名			美容総合技術	担当教員	佐藤知子 松崎百美 添田央貴
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			1学期・2学期・3学期 必修	授業単位	4 単位
授業の方法			講義・演習・実習・実技・実験		
科目概要			美容実習で学んだことをさらに応用し、様々なカット・編み方、特殊な巻き方を学んだり、着付け・ネイル・メイク・エステも学ぶ。		
到達目標			ア、就職してから必ず必要となる接客スキルを学生のうちに身につける。 イ、就職してから即戦力になれるようにシャンプースキルを身につける。また、「編む」という手技、着付け小物の使用法、ネイルの道具等を実践的に知る事で技術者の一助として活躍できるようにすること。		
成績評価			出席状況、課題ごとのチェック等による評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	11	1年間の流れ 用具渡し タオル掛け 接客意識 テキストの確認 接客練習 シャンプー台での1stシャンプーの仕方(お湯無し) サイドシャンプー技術		
	5	22	接客意識 2ndシャンプー チェントリ ハンドブロー 耳後ろ流し方展示 濡らし1・2 シャンプー 流し ブラシブロー 声掛け(座学有) パーマnent技術		
	6	18	接客意識 ブロー ヘルプの入り方 シャンプータイムの意識 お客様の迎える場所を変えての授業 カルテの発行(お客様の毛質等)エステ(ボディ)・メイク(まつ毛エクステ)についての知識		
	7	3	中間査定(実技・筆記)		
二学期	8	12	着付け(浴衣)／自分で着ること 相手に着せる事 ネイル／ネイルケア 三つ編み、編み込みの練習 エステ・メイクの技術習得		
	9	21	待遇意識／お客様のお迎え、声がけ、案内誘導、お見送りなど 技術／力加減、リズム、時間、ブロー(ハンド、ブラシ共に)バックシャンプー技術		
	10	9	接客意識 シャンプーを取り入れながらのパーマの一連の流れを実践。トリートメントを使ってモデルの毛を使いスタイリストなど役割を決め行う。		
	11	9	接客意識 シャンプーを取り入れながらのパーマの一連の流れを実践(塗布練習、ヘルプあり)。ウィッグを使用しカラーリングの塗布練習を行う(ヘルプ体験)		
	12	6	着付け(小紋) 帯結び		
三学期	1	6	カット(シザー・レザー)		
	2				
	3	3	ウィッグを使用しカラーリングの塗布練習を行う(ヘルプ体験)		
合計時間数		4(120)			

美容科 (理容修得者課程)

※エステティック技術かメイクアップどちらか選択可
(エステティック技術を選択した場合)

科目名			エステティック技術	担当教員	渡邊エリ
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師・エステティシャン)
学期・区分			①学期②学期③学期④必修	授業単位	2 単位
授業の方法			①講義②演習③実習④実技⑤実験		
科目概要			フェイシャルトリートメント技術の習得(クレンジング、ディープクレンジング・マッサージ・パック・仕上げ)と必要な知識(人体・皮膚の構造・衛生・カウンセリング等を学ぶ		
到達目標			ア、美容師ができるエステティック(ソワンエステティック)の理論と様々な手技、安全な機器の扱い方を学び、それぞれの肌質にあわせ、技術の組み合わせを考え美しい肌づくりを提供できるようにする。 イ、日本エステティック協会主催の検定(フェイシャルエステティシャン)合格を目指す。		
成績評価			出席状況、検定試験結果等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	12	用具渡し、機器説明 ・ベッドセッティング、ターバン、胸の処理、ポイントメイク落とし+スポンジでのふきとり		
	5	4	エステティックとは ホメオスタシス ・準備とハンドクレンジング、ブラシクレンジング(顔) 皮膚のしくみと働きⅠ ・ハンドクレンジング+ブラシクレンジング(顔+デコルテ)		
	6	4	皮膚のしくみと働き ・準備とクレンジング+スキンチェック 身体のしくみと働き ・クレンジング+スキンチェック 悪脂肪吸引 身体のしくみと働きⅡ		
	7				
二学期	8	8	皮膚のしくみと働きⅡ ・ハンドマッサージ		
	9	8	エステティックの基礎知識/フェイシャルの基礎知識 ・クレンジング+深部洗浄 エステティックカウンセリング ・クレンジング+リンパマッサージ		
	10	8	化粧品の種類と働き ・クレンジング復習+オイルマッサージ 栄養の知識 ・クレンジング復習+パック		
	11	12	エステティックにおける衛生と消毒 ・クレンジング復習+ペルチエ ボディエステティックの基礎知識 試験対策		
	12	4	筆記試験対策(練習問題) 実技試験 筆記試験 ・クレンジング+パック+ペルチエ		
三学期	1				
	2				
	3				
合計時間数		2(60)			

美容科 (理容修得者課程)

※エステティック技術かメイクアップどちらか選択可
(メイクアップを選択した場合)

科目名			メイクアップ	担当教員	松崎百美
配当年次			1年	実務経験	有・美容室勤務(美容師)
学期・区分			①学期②学期③学期④必修	授業単位	2 単位
授業の方法			講義 演習 実習 実技 実験		
科目概要			メイクの用具、使用法から学び、一通りフルメイクアップができるように取り組み、検定取得も目指します。基礎的な知識を学びます		
到達目標			ア、個人個人の美しさを重要と考え、衛生面に留意し、化粧品の特性、手技を理解してその人が本来もっている美しさを引きだせるようになること。 イ、日本メイクアップ連盟主催メイクアップ検定3級合格を目指す。		
成績評価			出席状況、検定試験結果等により評価		
授業計画					
学期	月	授業時数	内 容		
一学期	4	12	一年の流れ 検定について 用具渡し、セッティング・スキンケアの仕方 アイメイクアップ(カラーアイシャドウ)		
	5				
	6	8	ベースメイクアップ ポイントメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ 3級筆記試験練習問題		
	7	4	ベースメイクアップ ポイントメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ 3級筆記試験練習問題		
二学期	8				
	9	8	フルメイクアップ(タイム意識) 3級筆記試験練習問題		
	10	16	外来講師による仕上がりチェック 講習 復習 フルメイクアップ 3級検定試験(実技・筆記)		
	11	4	フルメイクアップ クリームFD以外のFDの違いを体験 立体感をつける		
	12	4	1月の自由制作に向けてデッサン描き フルメイクアップ練習		
三学期	1	4	自由制作に向けてデッサン描き仕上げ フルメイクアップ練習 自由制作と発表 撮影		
	2				
	3				
合計時間数		2(60)			